

# きものわ

肆、秋です、着物を着て何をしますか？

Kimono  
*Wa*

無料  
Take Free



# 「秋」あなたは何を楽しみますか？

活動しやすい季節になりましたね！

読書の秋、スポーツの秋、

食欲の秋と言われる季節ですが、

きものわを「楽しむ」ださるみなさまはもちろん、

「ああお出かけしやす季節だわ」

「お洒落を楽しみたいわ」

「やはり「着物の秋！」ではないでしょうか？

だよね？だよね？(笑)

きものわ第4弾のページ目は秋の装いについて考えてみました！

イベントも盛りだくさんの秋！

さあ、どんなコーディネートで楽しみましょうか？

季節感をたす装いは色や模様、柄からチェンジするのが

コツかもしれません。

日本にはたくさんさんの色がありますがかぼちゃのようなオ

レンジ

(だいぶロウインに影響されてる感でてますね)

デラウエア(葡萄)のような紫

(山梨と言ったら葡萄。どうを葡萄狩りにお出でください

まし)

紅葉の赤黄色など、自然にある色を参考に着物でも帯で

も、もちろん帯揚げ、帯締めでも、何処かしらに取り入

れると秋らしさがぐっとでます。

紅葉や木ノ実、お月見のお団子やお月様を帯留めや根付で取り入れるのもいいですね。

秋でも楽しむ事ができる植物にはダリア、ケイトウ、クレマチス、金木犀、バラ、コスモスなどありますが、着物の模様として多くみられるのは桔梗や萩、ススキ、紅葉でしょうか。

書きながら

あああの着物の出番だわ！

あああの帯留めをして紅葉狩りに行きたいわ！

と思い出してワクワクしてきました。

みなさまの秋の装い

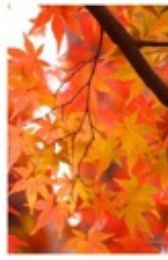
ぜひ「きものわ」にお寄せください。

さあ！着物の秋を楽しみましょう！



## 「秋」の色

秋は自然の豊かさに満ちた季節。葉の黄や赤、空の青や白、着物の色も秋の気分に合わせ、自然の豊かさに合わせて、秋の装いを楽しみたい。





## What's Kimono? ~着物って?~ 〈七五三 - Shichi-Go-San Style -〉

毎年11月の週末になると、晴着を着た親子が神社に参拝する姿がよく見られます。『七五三』といい、3歳、5歳、7歳の子どもたちの成長をお祝いする行事です。

3歳児のお祝いの原型は、平安時代から行われている、「髪置き」「髪立ち祝い」と呼ばれる、男女とも髪を伸ばし始める儀式から。女の子は四つ身裁ちされた着物、簡単な帯(しごき)を巻き、上に被布を着せます。

5歳児のお祝いの原型は、平安時代の公家階級で行われていた、初めて袴を着ける「袴着(はかまぎ)」「着袴(ちゃっこ)」の儀式から。男の子は五つ紋付の羽二重の着物に羽織と袴を合わせます。

7歳児のお祝いの原型は、室町時代から行われていた「帯解き」「紐落とし」と呼ばれる、初めて帯を締める儀式から。四つ身の着物に七五三用の帯を締めます。帯下にはしごきを締めます。

現在のように七五三という奇数を重ねて呼ぶようになったのは江戸時代から、庶民の間で祝うようになったのは明治時代からということです。

秋の神社で、沢山の着物の子どもたちと出会えます。  
着物の柄も鮮やかで、秋の紅葉にも映えるのではないのでしょうか？

Every weekends of November, we can see parents and children coming to the shrine, they are dressed the formal kimono. That is "Shichi-Go-san", that is the event for the third, fifth or seventh age children's growing-up.

The origin of the third age child's event is "Kami-oki" or "Kami-tachi-iwai", that starts in Heian period. Girls wear the children's Kimono, the simple obi such as "Sigoki" and a coat calling "Hifu".

The origin of the fifth age child's event is "Hakama-gi" or "Chakko", that starts in Heian period. Boys wear the formal Kimono and "Haori", like a cardigan, and "Hakama", like the between skirt or pants.

The origin of the seventh age child's event is "Obi-toki" or "Himo-Otoshi", that starts in Muromachi period. Girls wear the children's Kimono, the obi. She also wear "Sigoki" at the bottom of the obi.

This event has called "Shichi-Go-San" from the Edo period, and in Meiji period, that event has spread for the common people.

We can see the a lot of children at the shrine in autumn. The kimono has vivid and pretty colors, that match the red leaves.







↑ 着物で男子会



↑ 着物で女子会



↑ 着物で大人の遠足



↑ 山梨といえば…  
着物でほうとう！



↑ 着物でこたつ



↑ 着物で読書



↑ 着物で美術館

今回は、普段着物を愛されている方々が、  
秋のお出かけでどのようなところ  
にお出かけしているか、写真と共にお届けします。  
秋の装いと共に、参考に見てみてくださいね！

着物で〇〇！お出かけコレクションへ秋編



# 男着物入門 四、男着物は地味じゃない！

みなさんは女性の着物というと、どんなイメージがありますか？

鮮やかな色彩に華やかな柄をイメージする方が多いでしょう。

では、男性の着物はどうでしょう？色は紺や茶色、柄もなく地味なイメージがありますか？

昔から男着物の「こだわり」や「個性」は表に出さず、「さりげなく」とか「内側に」表現するのが粋とされてきました。

このことから、男性の着物は一見地味にみえてファッションとして「個性が出しづらい」「楽しみづらい」イメージがあるようです。

では、男性は個性を表に出してはいけないのか？そんなことはありません。

最近では個性を表に出して楽しんでる方が多くなってきました。

そこで今回は個性の出し方を紹介してみたいと思います。

その①着物  
反物のデザインが増えてきたものの個性的なものは多くはありません。そこで女性物を選ぶ方も多いようです。

男物より色柄が豊富なので好みのものが見つけやすいでしょう。

男物より反幅が狭いので裾が足りなくなることがあるので確認が必要です。



経のわりから仕立てた浴衣(左)

その②半襟  
顔の近くにあるので、目をひきやすく、手縫で空飾に印象を変えることが出来ます。

手芸屋さんで生地を買って付け替えるだけ。裁縫ができなくても専用テープがあるので簡単に替えることができます。



逆彩柄の襟も意外と合う

その③帯  
伝統的な柄から着物からのリメイクなど種類は豊富。

ポリエステル製であれば一万円以下で買えて、印象をガラリと変えることが出来ます。

締め方は「貝ノ口」が一般的と言われていますが、最近は一「片ばさみ」の方が多い感じがします。

車や電車で座ることを考えると「片ばさみ」の方が楽なので、いかが？



女性物のリメイク(上)と筋骨の帯(下)

その④足袋  
男は「黒」と言われてきましたが、今は黒の方が珍しいくらい自由に楽しんでる方が多いです。

着物や帯と合わせたり、オリジナルで挑める方も多いようです。



ポップなもの(上)とオリジナル感あふれる足袋(下)

着物もファッションです。時代と共に変わっていきます。昔ながらもいいですが、もっと自由に自分らしく楽しみましょう！





TVドラマ『ケイゾク』『TRICK』などを制作した堤幸彦監督が、「横溝系」サスペンスを撮影する時、ロケ地として選んだのが早川町にある赤沢宿。「横溝系」とは、横溝正史の「八つ墓村」のように、古い伝説や怪談をとった因襲が残っている村が舞台のストーリーだそうや。

赤沢宿は、日蓮宗の総本山身延山と霊山七面山を参拝する人たちの宿場として古くから栄えました。重要伝統的建造物群保存地区に指定されているため、「横溝系」ドラマを撮影するには、うってつけの場所だ、たのでしよう。そんな古い町並みが残る赤沢宿を、着物で歩いたら楽しがるうと思っていました……。

あゆこ、ふらっと着物散歩 (4)  
赤沢宿 & 古民家カフェ 健屋 (早川町)



山の斜面に沿って家屋が建っているため、想像以上に険しい坂道です。しかし、唯一営業している講中宿「江戸屋」、観光案内所となっている清水屋、「大坂屋」などで写真を撮っていると、ドラマの登場人物になっただけでワクワクします。着物でおでかけするにはびっぴり場所、赤沢宿唯一のお蕎麦屋さん「飯飯屋」では蕎麦定食をいただきました。具外からも蕎麦好きが訪れるそうです。



早川町の中でも最深部に当たり、秘境と呼ばれる赤良田には、驚くべき伝説がありました。

天平時代の女帝孝謙天皇(七五〇年頃)が、赤良の都からこの地へと移り、八年間もお住まいになったとか。孝謙天皇が湯治をされた赤良田温泉は、「女帝の湯」「七不思議の湯」とも呼ばれているそうです。御殿跡には「赤良法王神社」が建立されています。

赤良田の古民家カフェ健屋は、「赤良法王神社」の上手にあり、富士吉田から移築された築二百年の建物。リフォームされたインテリアは、田舎裏や重厚感のある大黒柱と調和していて、とても居心地が良いのです。鹿肉のトマト煮、白鳳味噌のキノコと鶏肉の生パスタ、エゴマのチーズケーキなど、地元の食材をいかした食事ができます。お皿やフクロまで地産地消にこだわっているそう。

古民家カフェ健屋でゆったりとくつろぎつつ、天平時代や、早川町の裏下にあるというフロッサマクナに思いを巡らせてみるのも楽しいかもしれません。

同じ山梨県ながら、秘境探検にも似た非日常感を味わえた着物散歩となりました。



## 山梨県内着物イベント情報

☆10/26(木) 昭和町☆

『和に触れる秋～わらつきよ～』

着物に合う和小物や着物フリーマーケット、  
お手入れ相談会など。

問い合わせ:090-5349-2884 (池田)又はこちらまでどうぞ→→



☆10/29(日) 甲府市☆

キモノでジャックin山梨『昇仙峡をジャックせよ』

14時昇仙峡ロープウェイ入り口駐車場

皆で歩いて滝まで行きます。写真撮影後解散

15時くらいから16時頃までプチジャックとして、  
『カフェテロアール』におじゃまします。

キモノでジャックin山梨



## 『きものわ』メンバー紹介



ともちゃん

普段着物歴 4年

着物でパソコン携えて  
どこでも参ります。



あゆこ

普段着物歴 7年

クラシックとロックを愛す、  
1児の母。



先生

普段着物歴 3年

ピールと猫を愛する着物男子  
内気だけど目立ちたがり屋



かあさん

普段着物歴 5年

フリーの着付け師でもある。  
popなコーディネートを好む。

街角スナップ、写真撮影でお世話になった皆様、  
ご協力ありがとうございました。

『きものわ』では、街角スナップなどご協力いただける方を募集しております。  
ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

TEL:090-2562-0308(古屋)

Mail:tomoko.does7897@gmail.com(池田)

Facebook: <https://www.facebook.com/kimonowayamanashi/>

ハッシュタグ: #きものわ